

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大砂土小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査の国語の「知識・技能」にかかわる領域において、全ての学年が市の平均正答率を上回り、また、R4年度の自校の結果よりも無解答率を減少させる。	⇒ 漢字や基本的な計算等について、ドリルパークなどのデジタルコンテンツと既存のドリルなどを活用し、反復・習熟に取り組む。学習履歴などを活用して個に応じた指導や支援を充実させる。
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査の算数の「思考・判断・表現」の領域において、4年生以上の「データの活用」に関する平均正答率が市の平均正答率を上回り、R4年度の自校の結果よりも無解答率を減少させる。	⇒ オクリンクやムーブノートなどを活用して、児童が主体的に自己の思考の流れを確認したり、既習事項を生かして発展的に学習することができる時間や場を効果的に設定する。協働編集機能を生かした学習を展開することで、多様な考えの共有を図ることができるようにする。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度さいたま市学習状況調査の「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか」や「授業で新しい問題に出あったとき、それを解いてみたいと思いますか。」の質問の肯定的な回答割合が、R4年度を上回る。	⇒ 児童にとって必要感のある課題設定を行い、主体的な課題解決型学習を充実させる。授業後のまとめや振り返りの時間設定を徹底し、自己のめあてや次時の取組に見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当)	
思考・判断・表現	③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
主体的に学習に取り組む態度		

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語-2pt、算数-3ptであった。全国平均との差には大きな変動はなく、R5年度では、国語、算数ともに、全国平均を下回る問題は見られなかった。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度の自校の結果と比較し、国語+1pt、算数-3ptであった。全国平均との差には大きな変動はなく、国語では、思考力、判断力、表現力等を問う全ての問題において、全国平均を3pt上回る結果であった。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目の、肯定的な回答の割合は95%であり、全国平均を17pt上回っている。より一層、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 全国学力・学習状況調査の結果から、敬語の使い方の考え方に課題がみられた。日常生活の場面で丁寧な言葉づかいをする機会を多く設定する。
思考・判断・表現	変更なし	⇒ 全国学力・学習状況調査の結果から、目的や意図に応じた自分の考えのまとめ方に課題がみられた。自分の思いや考えと、相手の考えを比較しながら聞くなどの学習過程をより多く設定する。
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ ICTの活用を進め、学習ログを振り返りや共有することに生かせるように、有効なデータの蓄積と活用を努める。